

感染症発生状況

令和6年6月20日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和6年6月10日（月）～6月14日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 345名 【職員】 3名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 69名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（139名）、咳・鼻水（74名）、下痢・腹痛（26名）、嘔気・嘔吐（19名）

疾病別：手足口病（19名）、溶連菌感染症（15名）、気管支炎・肺炎（10名）、
胃腸炎（9名）

【職員】 症状別：嘔気・嘔吐（3名）

疾患別：なし

感染症は落ち着いているようです。

【症状別の発生状況】

手足口病 河北地区、河南地区で増加しました。

気管支炎・肺炎 玉山地区で増加しました。

厨川地区、河北地区、河南地区、都南地区で減少しました。

溶連菌感染症 河南地区、都南地区で増加しました。厨川地区、河北地区で減少しました。

胃腸炎 河南地区、都南地区で増加しました。

厨川地区、河北地区、盛南地区で減少しました。

【県の状況（6/3～6/9）】

咽頭結膜熱は増加し、定点あたり患者数は3.15人となりました。警報値である3人を超えています。特に中部、久慈及び宮古地区で多くなっています。1999年から調査を開始して以来最多となっています。本症は発熱、咽頭炎、眼症状を主訴とする小児の急性ウイルス性感染症です。夏に報告数が増える傾向があり、プール熱とも呼ばれています。予防には患者との密接な接触を避け、タオルは共用せず、流水と石けんによる手洗いを励行することが重要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は増加し、定点あたり患者数は5.33人となりました。奥州地区で警報値である8人を超えています。全国的に多くなっています。発熱や全身倦怠感、咽頭痛を主症状とする細菌感染症です。本菌の感染により稀に引き起こされる劇症型溶血性レンサ球菌感染症の全国の報告数は過去最多となっています。予防には手洗いやうがいの励行のほか傷口の清潔保持が重要です。深い傷や発赤炎症のある傷の時は早めの受診をお勧めします。

RSウイルス感染症の定点あたり患者数は1.30人となり増加しています。本症は発熱、鼻汁、咳といった風邪の症状がみられますが、乳幼児を中心に重症化することがあり注意が必要です。予防には手洗い、咳エチケットが重要です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤル）ファックス652-3424】